富山市ＳＤＧｓ未来都市計画（素案）
パブリックコメントにおけるご意見と市の考え方

富山市ＳＤＧｓ未来都市計画（素案）についてパブリックコメントを実施した結果、次のとおりご意見が寄せられましたので、それに対する市の考え方と併せて公表いたします。

意見募集期間：平成３０年７月２日（月）～７月１０日（火）
意見者数：４名
意見数：１２件

NO	ご意見	市の考え方
1	「コンパクトシティ戦略による「防災」等の付加価値検証」とありますが、コンパクトシティ戦略と防災が、どう結びつくのでしょうか。	ご意見ありがとうございます。 本市が進める公共交通を軸としたコンパクトなまちづくりによる「都市のスリム化」により、災害リスクの軽減や効率的な避難行動に資する等、防災面からも効果があると考えております。
2	3. 環境 ゴール目標７（エネルギー）ターゲット 7. 3（エネルギー効率の改善）となっているが、コメントが 2. 社会　〇ゴール目標 3（健康・福祉）と同じコメントが記載されています。記載ミスではないでしょうか。	ご意見ありがとうございます。 申し訳ありません。記載ミスですので、修正いたします。
3	（2）三側面の取組、（3）三側面をつなぐ統合的取組の概要 2030 年に目指す将来像の実現に向け 3 つの価値ごとにＫＰＩを定め、具体的な取組も明確となっていますので、分かりやすいです。当会としましても積極的に取り組み参加いたします。	ご意見ありがとうございます。 本市としましても、環境・経済・社会の三側面をつなぐ統合的取組みにより、持続可能な付加価値創造都市の実現に努めてまいりたいと考えております。

4	(4) ステークホルダーとの連携 「富山市ＳＤＧｓ未来都市戦略会議」に5つのプロジェクトチームの②市民生活ＰＴに富山市の世帯加入率36.6%を組織する当会を是非、チームメンバーとして参加させていただき積極的に取り組んでいきたい	ご意見ありがとうございます。 申し訳ありませんが、プロジェクトチームについては、既に設置済みであります。 個別具体の事業におきまして、ＳＤＧｓの理念に基づき、連携することがあれば、相互に連携を図って参りたいと考えおります。
5	その他 当会としても富山市ＳＤＧｓ未来都市計画へ積極的に参加することから富山市と全国初のＳＤＧｓ連携協定を締結していきたい	
6	上記のことに加え、「地域の関係者との連携（産・学・官・金・労・言)」とありますが、富山県の地域包括ケア活動実践団体登録にもなっております「当会」も加えていただきたい。	ご意見ありがとうございます。 Ｐ24（域内の連携）中に「民間企業や、生活協同組合などの各種団体においてもＳＤＧｓ関連事業の展開が広がっており、これらと相互連携を図りながらＳＤＧｓの積極的な取組みを促進します。」と追記いたします。
7	富山市ＳＤＧｓ未来都市計画の実践をジャパンＳＤＧｓアワードに応募し受賞していただきたい。	ご意見ありがとうございます。 企業・団体等によるＳＤＧｓ達成に向けた活動が加速度的に拡大している中、こうした潮流を見極めながら、検討して参りたいと考えております。
8	2社会 人口減少と急速な高齢化への認識が薄いように見えますが、補強をお願いします。	ご意見ありがとうございます。 人口減少・超高齢社会への対応は必須ということは強く認識しておりますことから、Ｐ4 で課題として捉えており、社会面においても、Ｐ30 において、「高齢者等の外出機会・健康増進効果を高めるといった社会価値への貢献を目指します。」と記載しております。

9	2 社会、3 環境 市街地の過疎化、買い物困難地域、地域の中での繋がりづくり、助け合い活動などへの記述が必要ではありませんか。	ご意見ありがとうございます。 Ｐ28 で「各地域が相互に交流し、補完する関係を築くことを目的として、地域を越えた市民の新しいつながりを促進する必要があります。」と記載しており、また、モデル事業において、デマンドタクシーやコミュニティバス等についてＥＶやＦＣＶの活用可能性検討調査を予定しており、買い物困難地域等の解消を図ることができるよう努めて参りたいと考えております。
10	関連する取組事業例が示されていますが、もっと広くステークホルダーの積極的な参加・参画を促す基本的な考え方の提示をお願いいたします。（例えば、障害者自立生活促進や雇用、ライチョウ保護、木質バイオマス普及等）	ご意見ありがとうございます。 Ｐ21 において、域内のみならず、自治体間の連携や、国際的な連携についても記載しており、様々な場面を捉えて各種団体との連携を図りながら、ＳＤＧｓの達成に努めて参りたいと考えております。
11	ＳＤＧｓ推進体制の「ＳＤＧｓ個別プロジェクト」や「地域の関係者の連携」につきまして、当会の定義・価値・原則を理解いただき、ステークホルダーとして明確に位置づけしていただければと思います。そしてそのことが、私たちのＳＤＧｓ推進活動も力強く前進していけるものと考えております。ご検討の程よろしくお願い申し上げます。	ご意見ありがとうございます。 Ｐ24（域内の連携）中に「民間企業や、生活協同組合などの各種団体においてもＳＤＧｓ関連事業の展開が広がっており、これらと相互連携を図りながらＳＤＧｓの積極的な取組みを促進します。」と追記いたします。

12	富山市未来都市地域エネ管理（ＤＧＲ）に大きな課題があります。 ① 系統連携（双方向インバータ）コスト膨大 ② 送電網自由化予約等（天候価格）制度整備とシステム化必須 ③ 直流家電販売量は少ないがその必要性の是非 ④ 既存ｘEMS 関係（畜電池・スマートメータ・EV）制御 ⑤ 富大 VPP（ｘEMS 連携不明）と地域エネ全体を見てＡＩ含め考慮が必要であり これらは在宅介護看護と多機能自治化に対して重要であり、特に関電君津開閉所総合送電ロスを回避、地産地消の毎年経済性４８億円１５４万CO2削減を実現され他市のモデルとされることを期待します。	ご意見ありがとうございます。 デジタルグリッド（DG）技術を活用し、「電力融通」「電力識別」サービスを提供する DGR を用いた電力融通決済システム（ブロックチェーン技術）は、再生可能エネルギーと組み合わせることにより、CO_2を抑制する環境性能の高いソリューションであり、地域のエネルギー需要に対応する新しいエネルギーシステムとして期待されております。 今後、モデル事業を展開する際には、ご指摘いただきました点を踏まえながら、太陽光、小水力等の再生可能エネルギーを安定的に制御・融通し、系統への影響を軽減する DGR 技術の応用について検討させていただきたいと考えております。